

■ 交流軸の構築、連携空間の創出

- 交流軸の構築および連携空間の創出を実現するため、道路・広場・通路・車両系機能などを、都市施設や地区施設として都市計画に位置付ける。既存の都市計画（都市施設や地区計画）も必要に応じて変更する。
- 都市計画決定（変更も含む）の詳細や時期については、関係者と協議・調整を行っていく。

○ **都市施設として位置付けるもの（例）**

- ・ 駅前広場
- ・ 駅前広場と一体的に機能する敷地内広場
- ・ 東西の駅前広場をつなぐ通路
- ・ 南北の基幹となる通路
- ・ 公共駐車場

○ **地区施設として位置付けるもの（例）**

- ・ 敷地内広場（都市施設を除く）
- ・ 通路（都市施設を除く）

- 都市施設や地区施設の整備については、更新期を迎えた駅ビルの建替えを契機として、敷地の整序と合わせた、駅、東西の駅前広場、駅ビル等の一体的な再編により実現することを検討する。
(先行して一体的な再編を検討する区域は右図の通り。)
- 具体的な整備手法は、新宿の拠点再整備方針に例示した土地区画整理事業や都市再生特別地区等も含め、調査・検討し、それをふまえ関係者と協議・調整を行っていく。

グランドターミナルの再編イメージ

